

令和5年度 交通安全講習会

令和6年2月16日（金）午後1:30～
八尾市文化会館（プリズムホール） 4F 研修室

1. 開 会

2. 講 話（13:35～14:50）

大阪府八尾警察署 交通課 鈴木係長・オカダ様

『シニア世代（65歳以上）の交通安全』

大阪府下の交通情勢と交通事故を防ぐための注意点をできる限り分かりやすくお伝えしたい

○ 説明の流れとして

- 1) 昨年一年間の大阪府の事故発生状況
- 2) DVD鑑賞
- 3) 歩行中・自転車運転中の注意事項（補足説明）

1) 高齢者の事故の特徴について

- ・ 令和5年中の大阪府下の交通事故（人身事故）は、25,951件一昨年と比べると442件と増加傾向にある。全国の比率でいうと1割大阪で発生している。東京に次いで2番目に多い。令和5年中、死亡事故死者数148人の方が交通事故で亡くなっている。全国的で見ると47都道府県で大阪はワースト1となっている。（2年連続）2位愛知で東京、北海道と続く、重傷事故も大阪が全国1番で10年連続である。
- ・ 高齢者の交通事故は、148人中65歳以上の方は81人全体の55%が被害者となっている
- ・ どんな場所で事故が起きているのか
81人中交差点かその付近で亡くなっている
- ・ 自宅からの距離は
31名が自宅から1km以内（10分ぐらい）家から近い距離で事故に遭っている

2) DVD鑑賞「はなちゃんとやじきた」の交通安全教室（20分）

小学生のはなちゃん（女の子）とシニア世代の男性二人と歩行中あるいは自転車乗車中の注意点をドラマ形式で交通ルールを学ぶものです。

① 安全は急がば回れ

～横断歩道以外の場所の横断～

② 夕暮れ時は要注意

～夜間は歩行者も自動車も見えにくい～

③ 止まれは止まれ

～信号機の無い交差点で自転車事故～

1) 道路を横断するとき 2) 夜間外出するとき 3) 自転車に乗っているとき いずれも高齢者の方が交通事故に注意して欲しい場面を取り上げている。

まず、大切なことは、交通ルールをしっかり守るということ。

自分本位の行動になっていないか？日頃、自分の行動を反省してみることも必要なかもしれません。そして、もう一つ大事なことは、加齢によって生じる体の変化を自覚し、それを自分自身の安全行動に生かすということです。道路の横断に際しては、はまちゃんが言う状況判断とともに実践してほしいと



思います。これからも、元気に安全にお孫さんなどの模範となるように心掛けてほしいものです。

3) 歩行者・自転車の注意点

<歩行者編>

- ・危険な横断はやめる

①斜め横断 ②横断歩道外の横断 ③駐車車両前後からの横断 ④横断禁止場所の横断

- ・信号を守る

<安全確認>

- ・信号のある横断は左右確認し横断する
- ・渡る際、ハンドサインとアイコンタクトをする

<自転車編>

- ・自転車は車の仲間ですので、認識してください。(車と同様、ルールを守る)
- ・簡単なクイズ3問⇒(①道路のどちらか?②とまれの標識では?③ヘルメットを被るのはだれ?)
- ・ヘルメット着用について
道交法の改正により努力義務になり、7月の調査で全国着用率は14.2%、大阪は4.5%全国ワースト3です。
愛媛県は1番であった。

<自動車編>

- ・状況に応じた危険予測をする。左折巻き込みに注意(サイドミラーと目視)
右折の場合、対向車の陰からバイク・自転車に注意
- ・人間の視野範囲は200度(加齢によって違う)はっきり判断できる有効視野は20度
- ・運転免許の返納について(春・秋に免許返納体験がある)

4) 夕暮れ夜間の注意点

- ・夕暮れ、日暮れ時というのは、17:00~19:00の時間帯に歩行者の交通事故が多発する時間帯
黒っぽい服装 26m、明るい服装 38m、反射材を付ける 57m前から確認できる
- 交通ルールをしっかりと守る } 事故に遭うリスクが減る
周囲の安全を確認する }

【 質問など 】

- Q.1 高齢者は歩道を走れるか?歩道上のどちら側か再確認したい
A. 65歳以上の方も歩道上を走行できる、車道側を走行する
- Q.2 学生などの交通安全の意識は?(無灯火や走行マナーが悪いので)
A. 学校から安全教育の依頼。また、生徒指導連絡会議で学校の先生との会議があって、その中で伝えている
- Q.3 歩道を走行した場合、車道を走行した場合、どの信号を見るのか?
A. 各々の信号が優先(①歩道を走行中は歩行者用信号 ②車道を走行中は車両用信号)



3. 安全就業（傷害・賠償事故発生状況）について

事務局より（14：55～15：25）

- ・はじめに＜誰が何のために＞
- ・八尾市シルバー人材センターの概要
- ・安全就業の心得（10ヶ条）
- ・令和4・5年度 傷害・賠償事故について
- ・事故防止対策について
- ・シルバー保険について
- ・自転車を安全に利用するために
 - ①自転車の保険について
 - ②自転車用ヘルメット着用について

4. 閉会

